

証券コード：3360

生命を守る人の環境づくり

SHIP HEALTHCARE

シップヘルスケアホールディングス株式会社

2027年３月期第２四半期（中間期）決算説明資料

2026年11月13日

目次

グループ理念	・・・・・・	3
2027年３月期 第２四半期（中間期） 業績について	・・・・・・	4
下期の事業環境通期見通し	・・・・・・	13
トピックス	・・・・・・	24
参考資料	・・・・・・	28

グループ理念

SHIP

Sincere（誠実な心）
Humanity（「情」の心）
Innovation（革新者の気概）
PartnerSHIP（パートナーシップ精神）

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

基本姿勢

し せい そく だつ
至誠惻怛

2027年３月期第２四半期（中間期）業績について

生命を守る人の環境づくり
SHIP HEALTHCARE

※2026年３月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年３月期中間期の連結経営成績については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

財務ハイライト（連結）

	2026.3		2027.3						
			中間期業績		前期比		計画比		通期計画
（百万円）	中間期（実績）	通期（実績）	中間期（計画）	中間期（実績）	増減	増減率	増減	増減率	通期（計画）
売上高	333,401	718,163	345,000	362,210	+28,809	+8.6%	+17,210	+5.0%	740,000
売上総利益	29,372	66,703	-	30,372	+1,000	+3.4%	-	-	-
営業利益	8,231	24,482	8,500	8,593	+362	+4.4%	+93	+1.1%	26,000
営業利益率	2.5%	3.4%	2.5%	2.4%	-	-	-	-	3.5%
経常利益	8,775	26,331	8,500	9,533	+758	+8.6%	+1,033	+12.2%	26,500
経常利益率	2.6%	3.7%	2.5%	2.6%	-	-	-	-	3.6%
親会社株主に帰属する中間（当期）純利益	5,470	13,394	5,500	6,130	+659	+12.1%	+630	+11.5%	16,000

１株当たり当期純利益	144.19円	176.38円
１株当たり配当金	60円	65円
連結配当性向	41.6%	36.9%

決算ハイライト

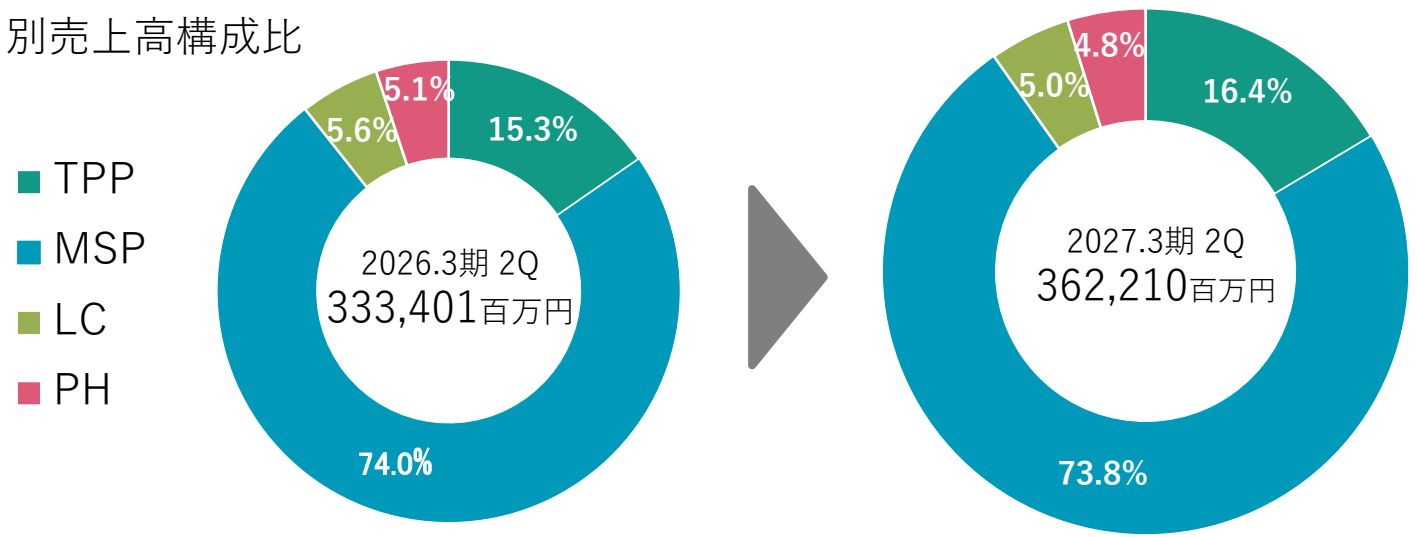
売上高	TPP	大型PJ案件を予定通り計上
	MSP	新規ＳＰＤ受託施設の稼働及び既存施設での受託領域拡大
営業利益	TPP	大型PJ案件は予定通り計上も、メーカー系の医療設備完了案件が減少
	MSP	専門領域での症例拡大や取扱高の増加
	LC	物価上昇やサービス品質維持のための各種費用増加
	FD	完全調理済食品の導入が堅調に推移
	PH	処方期間の長期化等により受付回数が減少
	PH	調剤報酬改定の影響による技術料の減少
	共通	当期より8社が外形標準課税の対象となり、租税公課が増加
経常利益	営業外	持分法適用会社からの「持分法による投資利益」は前期比増

- ✓ 2Q連結業績は概ね計画通りに推移
- ✓ 連結業績は売上高及び各利益段階で、前期比・計画比ともに増収増益を達成

セグメント別　売上高

（百万円）	2026.3 2Q実績	2027.3 2Q実績	前期比 増減額	前期比 増減率
トータルパックプロデュース事業　(TPP)	51,172	59,432	+8,259	+16.1%
メディカルサプライ事業　(MSP)	246,756	267,371	+20,614	+8.4%
ライフケア事業　(LC)	18,542	18,012	▲529	▲2.9%
調剤薬局事業　(PH)	16,929	17,393	+464	+2.7%
合計	333,401	362,210	+28,809	+8.6%

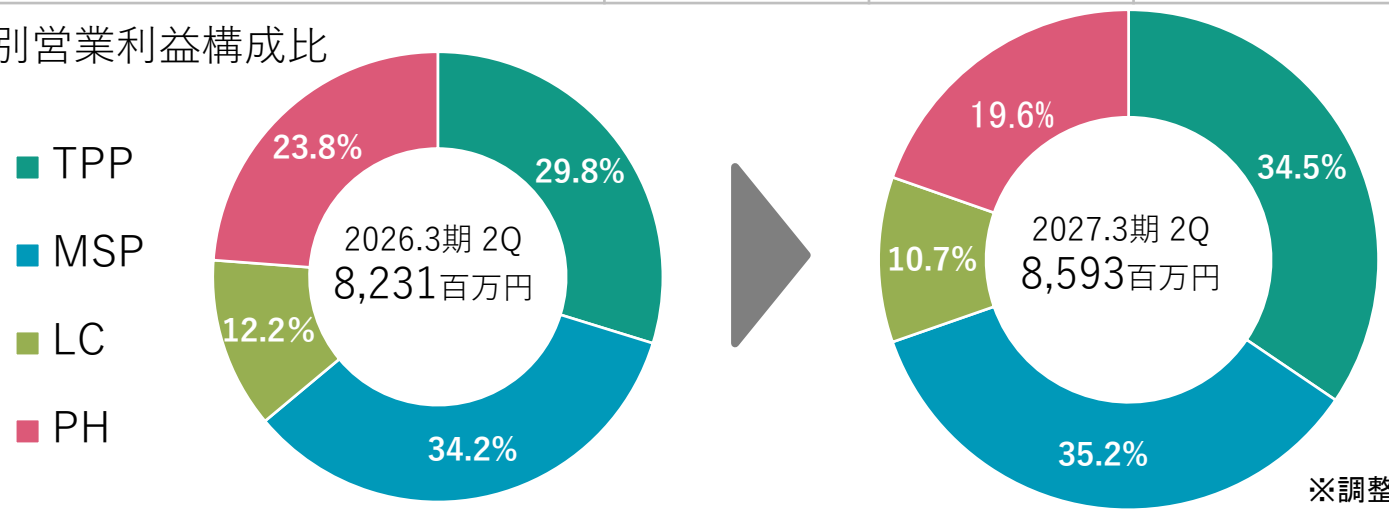
■　セグメント別売上高構成比



セグメント別　営業利益

（百万円）	2026.3 2Q実績	2027.3 2Q実績	前期比 増減額	前期比 増減率
トータルパックプロデュース事業 (TPP)	2,470 利益率4.8%	3,003 利益率5.1%	+532	+21.6%
メディカルサプライ事業 (MSP)	2,835 利益率1.1%	3,064 利益率1.1%	+228	+8.1%
ライフケア事業 (LC)	1,017 利益率5.5%	931 利益率5.2%	▲85	▲8.4%
調剤薬局事業 (PH)	1,976 利益率11.7%	1,710 利益率9.8%	▲265	▲13.4%
調整額	▲68	▲116		
合計	8,231 利益率2.5%	8,593 利益率2.4%	+362	+4.4%

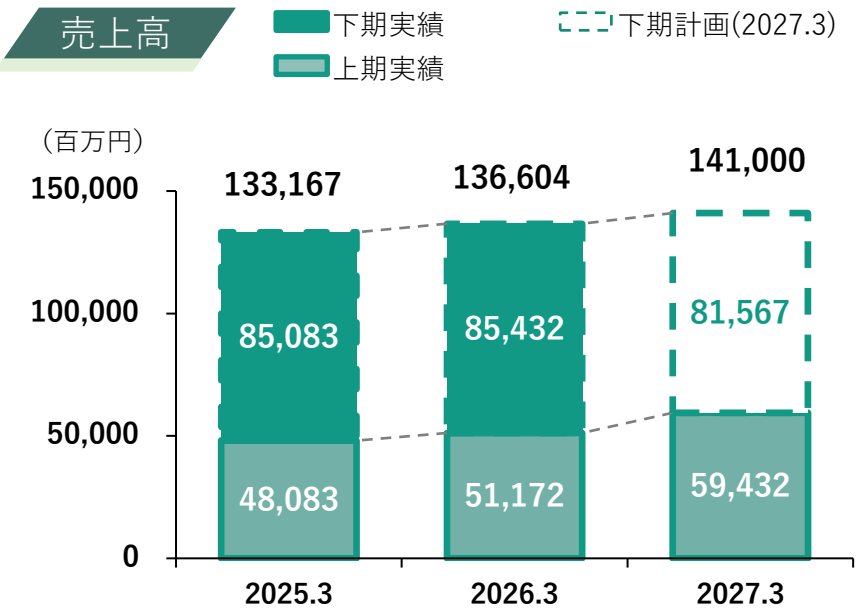
■ セグメント別営業利益構成比



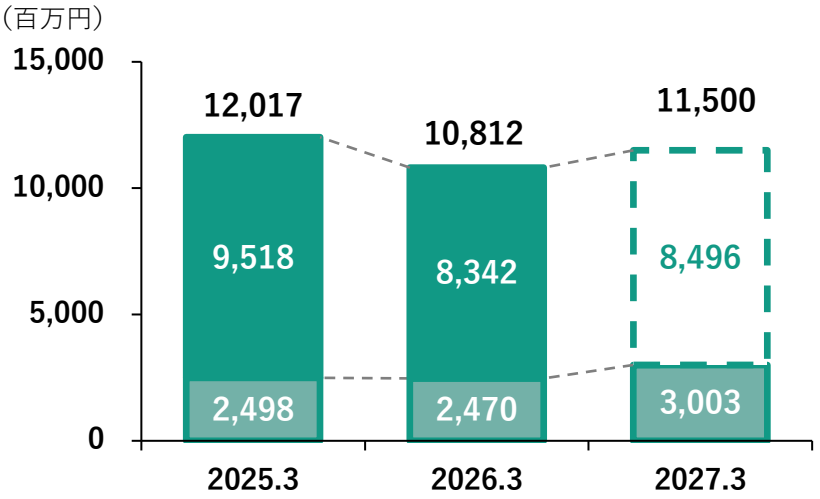
※調整額は除いております。

TPP事業　売上高・営業利益

売上高



営業利益



プラス面

- 大型PJ案件を予定通り計上

マイナス面

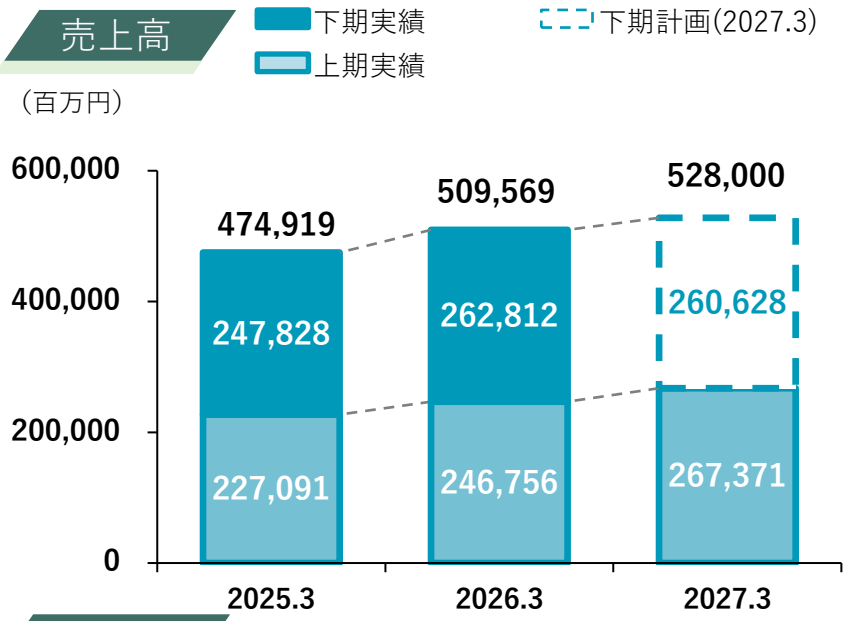
- メーカー系における医療設備の完了案件が減少
- メーカー系における中東情勢を背景とした石油由来部品の供給懸念及び原価負担の増加

売上高（百万円）	2026.3 中間期実績	2027.3 中間期実績	前期比 増減	前期比 増減率
PJ・ルーチン	18,343	29,553	+11,209	+61.1%
メーカー系	15,450	13,181	▲2,268	▲14.7%
海外	263	445	+181	+68.9%
キングラン	11,399	10,301	▲1,097	▲9.6%
その他（※）	5,715	5,950	+235	+4.1%
セグメント合計	51,172	59,432	+8,259	+16.1%

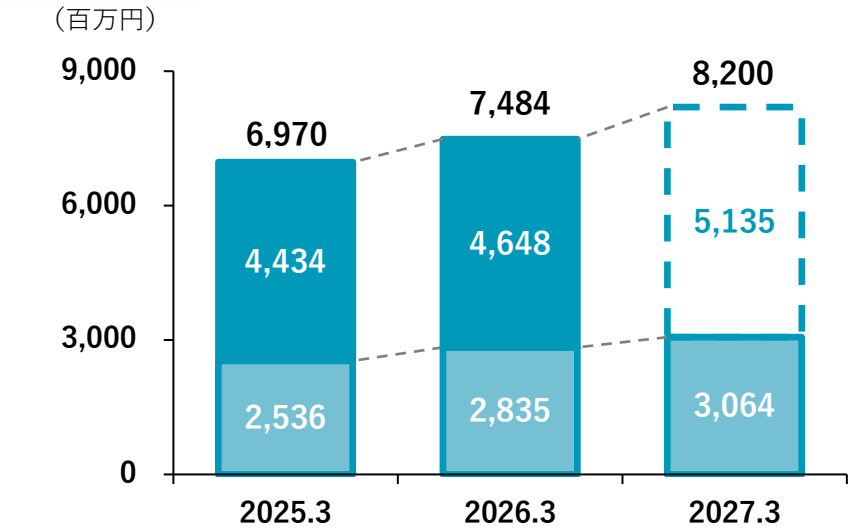
（※）警備事業、建物管理事業、動物病院運営事業、医療刑務所事業の4社

MSP事業　売上高・営業利益

売上高



営業利益



プラス面

- 新規ＳＰＤ受託施設の稼働及び既存施設での受託領域の拡大
- 南船橋物流拠点を活用したSPDプラットフォームへの関心が高まり、病院・メーカーからの見学・問い合わせが増加
- 専門領域での症例拡大や取扱高の増加

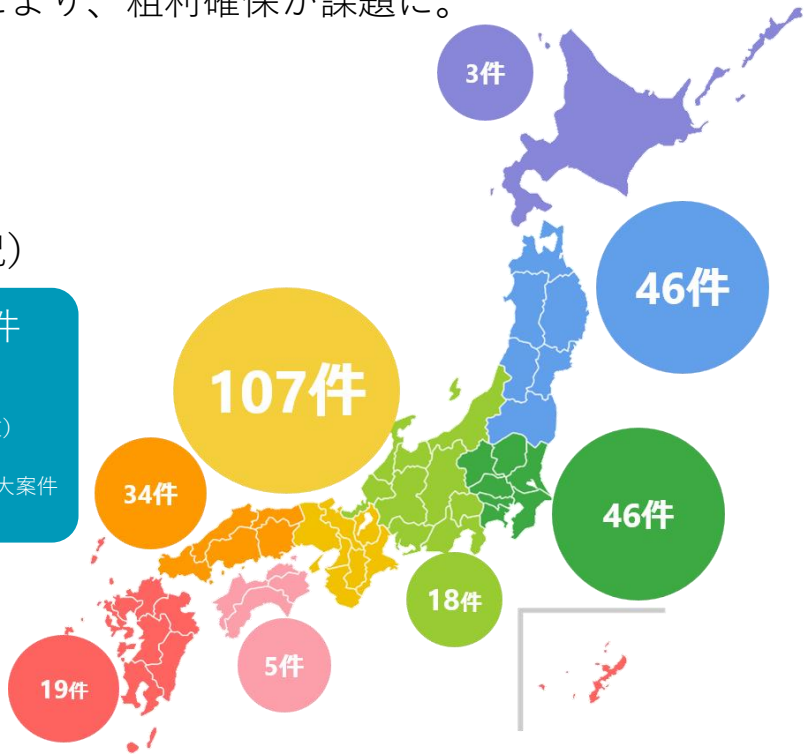
マイナス面

- 仕入価格上昇により、粗利確保が課題に。

（SPD受託状況）

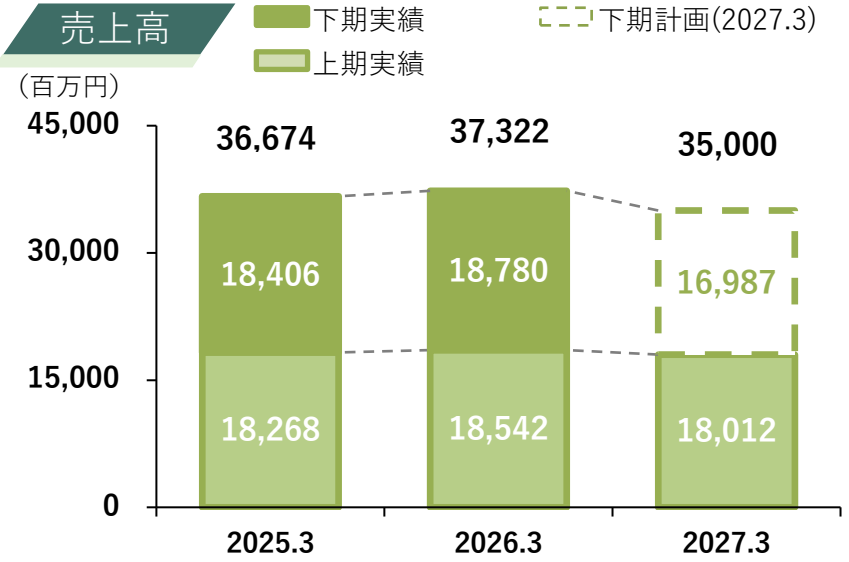
全国 278 件
約10万床

（2026年9月30日現在）
前期末比　＋１件
既存施設での受託領域拡大案件は２件

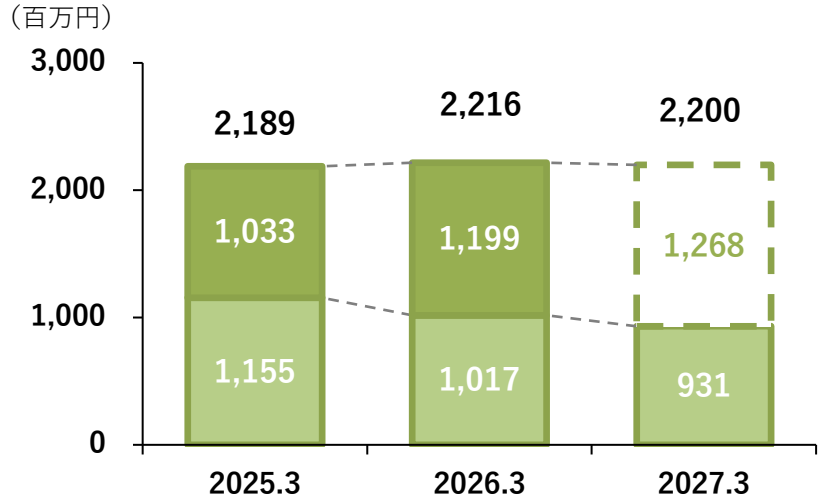


LC事業　売上高・営業利益

売上高



営業利益



プラス面

- 【ライフ】新規施設である仲池上の入居率100％に到達
- 【ライフ】ミリ波による見守りシステムの試験的導入
- 【フード】完全調理済食品の導入が堅調に推移

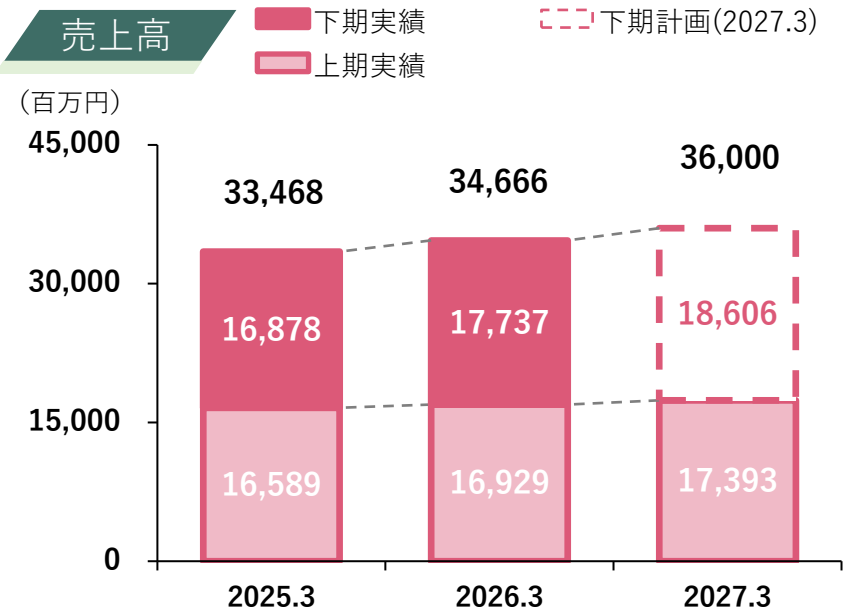
マイナス面

- 【ライフ】物価上昇やサービス品質維持のための各種費用増加による事業運営コストの上昇
- 【フード】一部顧客による食事提供業務の直営化に伴う契約終了により、前年同期比では減収

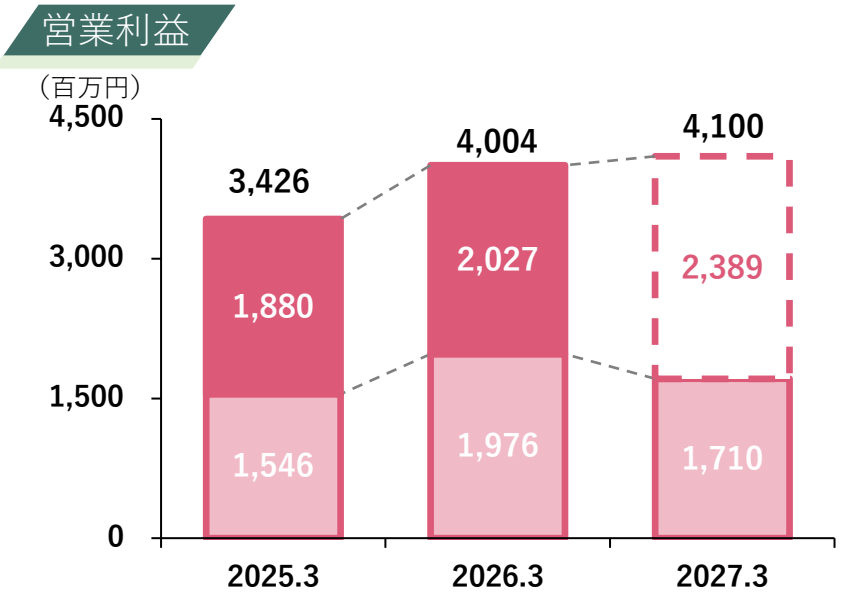
売上高（百万円）	2026.3 中間期実績	2027.3 中間期実績	前期比 増減	前期比 増減率
ライフ事業	12,368	12,524	+155	+1.3%
フード事業	6,173	5,488	▲685	▲11.1%
セグメント合計	18,542	18,012	▲529	▲2.9%

PH事業　売上高・営業利益

売上高



営業利益

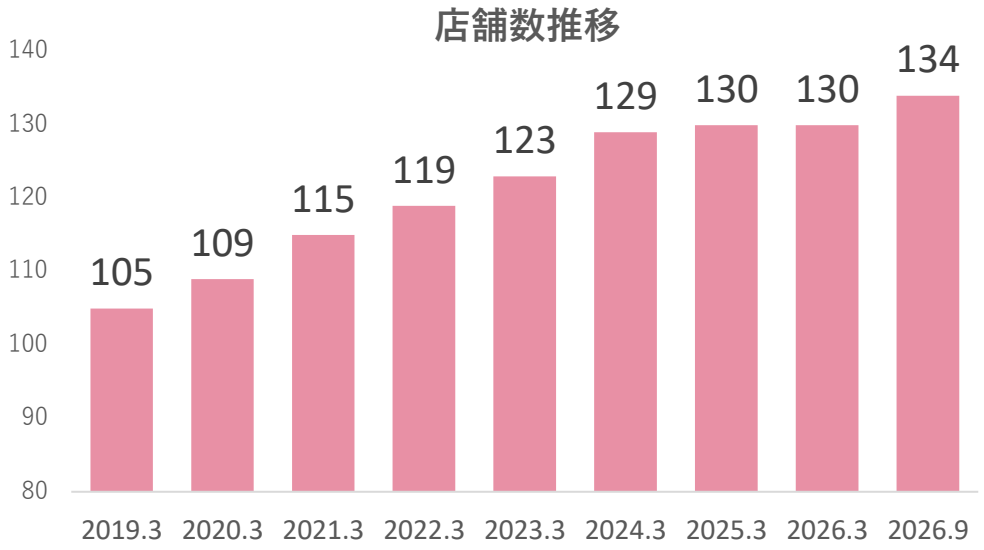


プラス面

- M&A実施（滋賀県：3店舗）
- 新規開局（埼玉県三室店　CL門前薬局）

マイナス面

- 処方期間の長期化等により受付回数が減少
- 調剤報酬改定の影響による技術料の減少
- 新たに外形標準課税の対象となり、租税公課が増加



下期の事業環境
通期見通し

生命を守る人の環境づくり
SHIP HEALTHCARE

下期の事業環境認識/通期見通し

トータルパックプロデュース事業(TPP)	• 進行中の大型PJ案件やITソリューション案件は当初予定通りに進捗 • 医療機関の経営環境や物価高の影響で、中長期的に建替えは遅延リスクあり • メーカー系は下期偏重の計画であり、概ね計画通りに進捗
メディカルサプライ事業(MSP)	• 南船橋物流拠点を活用した提案を強化 • MSP事業を起点とした他セグメントへビジネスの深耕
ライフケア事業(LC)	• 見守りシステム等の活用によるサービス品質・業務効率の向上を推進 • 記録システム及び見守りシステムの連動により、新たな加算算定に取り組む
フード事業(FD)	• 提供価格の適正化を進め、収益性の改善を図る • 介護施設で培った完全調理済食品のノウハウを、大型急性期病院へ展開
調剤薬局事業(PH)	• M&A（シナジー効果・ドミナント展開）の継続 • 調剤報酬改定を踏まえ、加算取得に向けた体制整備を推進

グループ連携案件事例

■ コンサルティングを起点に、計画・整備・開院準備・運営までグループでつないだ事例



①起点をつくる	②専門性を束ねる	③運営へつなぐ
病院再整備 コンサルティング ・開院準備・移転支援	設備・手術室・機器・ 情報基盤	物流・サービス

■地域医療の再設計

機能分化・高度急性期・救急機能の強化

■開院業務を一体支援

医療機器・什器・IT・物流・外部委託・移転準備

■当社グループ計12社が連携

計画から運営まで、切れ目なく支える

地域医療の再設計と、開院業務の一体支援

完全調理済食品「ドリームキッチン」の事業展開

LC

■ 人材不足への対応と給食運営の効率化を両立し、介護施設から大型病院へ展開。



簡単3ステップ



湯煎　盛り付け　提供

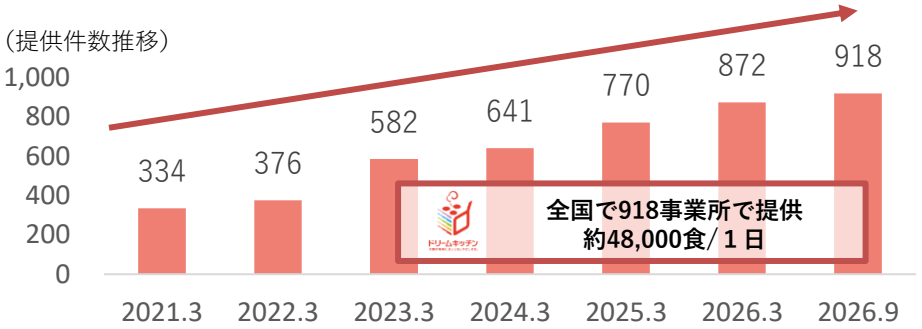
導入メリット

①人材不足解消
湯煎のみの管理調理

②品質向上
栄養バランス塩分量考慮
調理や盛り付けによるばらつきを防ぐ。

③業務効率化
業務の工数削減

④コスト・環境改善
人件費、厨房スペース、運営コストの削減



人材不足という社会課題を事業機会に変え、給食運営の効率化と品質向上を支援。
介護施設で培ったノウハウを大型病院へ横展開し、フード事業の成長につなげる。

シニア向け分譲マンション事業

■ ハイネスコーポレーション社との共同事業　～シニア向け分譲マンション～

おおみ路
中楽坊







SHIP HEALTHCARE
GREEN HOSPITAL SUPPLY
×
ハイネスコーポレーション
シニア向け分譲マンション供給実績
近畿圏全域No.1

新会社設立

シニア向け分譲マンションを提供

■ 案件パイプライン

2024　2025　2026　2030

中期経営計画 SHIP VISION 2030
(2026.3～2030.3)

案件1

案件2~4の企画中

Well-Being領域の取り組み①

■ 中の島公園・中の島スポーツグラウンド指定管理業務







受託概要

- 公園の管理運営
- スポーツグラウンドの人工芝化
- 公園協議会の設置と運営
- ボランティア活動の支援
- 収益施設（パークセンター、カフェ）の整備/運営
- 経理事務業務（事業収支報告）
- 公園の目的に沿った自主事業の開催（キッチンカー、イベント開催など）

受託期間

2025年７月１日から2045年3月31日（20年間）

Well-Being領域の取り組み②

■ 京都府立植物園施設管理・運営等業務委託　受託（2026年7月業務開始）







受託概要

■ 年間来園者100万人に向け、サービス・快適性向上、自主事業、広報・マーケティングを一体的に推進。

■ 来園者対応、施設・園内環境管理、イベント・施設活用、広報・マーケティング。

受託期間

2026年７月１日から2031年６月30日（５年間）

生命を守る
自然を守る

首都圏・医療材料物流拠点「SHIPグランベース東京」を開設

■ 大阪ソリューションセンターとの２拠点体制で、安定供給・省人化・データ活用を推進



物流構想の5つのポイント

1 将来を見据えた働き手不足に対応した物流改革
人材の集約化・ロボット化による業務効率化

2 新たな購買戦略
拠点を活かした在庫保有や物流改善により、メーカー各社との連携強化

3 顧客ニーズに対応できるグループのブランド戦略
経営母体が異なる複数病院一括契約にも対応

4 BCP対応
医療材料の安定供給を可能とする体制の構築

5 病院内スペース不足による院外への新たなニーズ
院内型SPDは病院に多くの空間を要することから院外ニーズへの需要獲得

自動倉庫による業務削減比較（ピッキングの場合）

項目	これまでの「人」	これからの「自動倉庫」
病床数	850床	
対象部署数	70部署	
１日カード枚数	2,400枚	
人数	12人	1人
総時間数	35時間	7.9時間

- 2026年2月の開設以来、病院21施設・メーカー18社・業界関連企業26社の計65施設・企業が見学。高い関心をいただいている。
- 自動化に加え、物流データを原価管理・在庫適正化・業務改善に活用する取り組みを高く評価。
- 今後は、物流・調達・データをグループ全体で活用し、SPD事業の拡大と収益性向上につなげる。

RFIDを活用した共同スキーム

■ 医療材料に貼り付けたRFIDを活用し、「SHIPグランベース 東京」から各医療機関へ配送されるトラックにもRFIDセンサーを取り付け、医療材料の出荷から納品までの位置情報をリアルタイムで追跡・管理するトラッキングシステムを共同開発

1 自動倉庫から出荷



2 積み込み時の読み取り



3 輸送中の位置把握



4 病院内で自動検品



千葉大学医学部附属病院
及び日本通運株式会社との
共同研究も構想中

モバイル等で、輸送状況を
リアルタイムに把握可能



業務効率化に加え、ロット・シリアル単位の管理により、安全性・トレーサビリティを向上

→　PMDA（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）との自動連携を目指す。

ミリ波見守り機器を活用した介護DXの推進

■ 介護現場での実証成果を基に、グループ連携で事業化



ミリ波による非接触見守り

- ■ カメラを使用せず、起き上がり・離床・就床を検知
- ■ 心拍・呼吸・体表温等をリアルタイムに可視化
- ■ プライバシーに配慮し、状態変化の早期把握を支援

導入効果

生産性向上	直接ケアの時間を創出	**品質向上**	状態変化へ迅速に対応
QOL向上	不要な夜間巡視を削減	**職員負担軽減**	夜勤時の負担を軽減

介護施設での実証成果

夜間ラウンド時間	残業時間	夜間おむつ交換
120分 → 20分	月平均35時間	21回 → 8回
83.3%改善	削減	61.9%削減

年間の業務時間創出効果（モデル試算）	43床：約752時間	70床：約1,224時間	100床：約1,749時間

見守り・介護記録・センサーデータの連携により、介護業務の効率化と職員の負担軽減を推進。
人員配置基準3：0.9の実現を含め、質の高い介護を提供できる運営モデルを構築し、グループ展開と介護DX事業の拡大を目指す。

＜最後に＞医療インフラ再構築の需要を、持続的な企業価値向上へ

医療インフラ再構築による成長機会

- 病院再編・機能集約への対応
- リニューアル・設備更新需要
- 医療DX・セキュリティ投資
- SPD・院外物流の受託拡大
- データ活用・経営効率化支援

グループの総合力で需要を取り込む

シップヘルスケアグループの一体提供力

構想・設計	設備・工事	医療機器
IT・DX	SPD・物流	運用・データ活用

構想段階から開院後の運営・改善までを一体で支援

持続的な成長・企業価値向上

- 既存顧客との取引深耕
- 複数サービスの一体提案
- 継続収益の拡大
- 収益性・資本効率の向上

これらの取り組みを通じ、開示済みのSHIP VISION 2030の達成を目指す

売上成長率5% ｜ 営業利益率4% ｜ ROE12%

トピックス

生命を守る人の環境づくり
SHIP HEALTHCARE

チャーム・ケア・コーポレーションの完全子会社化に向けた公開買付け

既存の業務提携をさらに深化させ、
両社の強みを生かした介護事業の成長とサービス品質の向上を目指す。

本取引の概要

持分法適用関連会社であるチャーム・ケア・コーポレーションの完全子会社化を目的に、公開買付けを実施中

買付対象	普通株式及び新株予約権	**株式購入総額**	約455億円
買付価格	普通株式1株につき1,970円	**決済完了予定日**	2026年12月28日（月）
買付期間	2026年11月9日（月）～12月21日（月）（30営業日）	**買付予定数**	下限：議決権総数の3分の2以上（12,194,500株） 上限：設定なし

目指す４つの連携

施設開発

物件情報・開発知見を
共有し、新規開設の
加速化・領域拡大を検討

入居促進

施設ポートフォリオの
補完性を生かし、多様な
入居ニーズへの対応を検討

サービスの相互利用

給食・介護機器等の利用拡
大を個別に検討し、運営ノ
ウハウを共有

介護人材の確保・定着

海外人材を含む採用・
育成の共通基盤を検討し、
確保力・定着率向上へ

取引後の基本方針

チャーム・ケア・コーポレーションの経営体制と現場運営の自律性を尊重しながら、連携を進める方針。

中計に沿った成長投資の実行と資金の有効活用

① 中計の投資方針を実行

本件は、中計で掲げた成長投資を具体化するもの

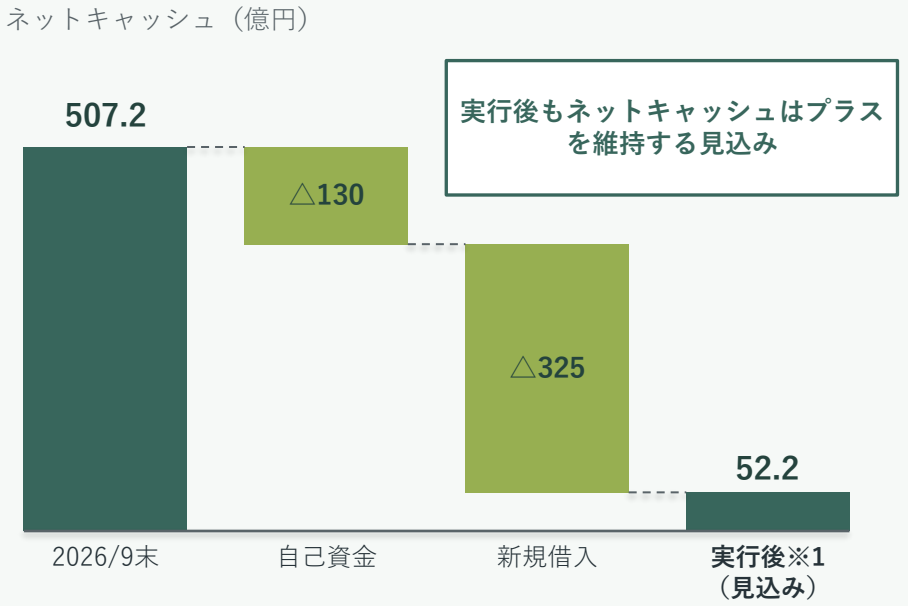
中計の成長投資計画
600～800億円程度〔5年間累計〕
設備投資・M&A投資・人的資本投資 等

本公開買付
中計で掲げた成長投資の具体化

本件の資金調達（予定）
自己資金130億円 ＋ 新規借入325億円

② 資金を成長に活用

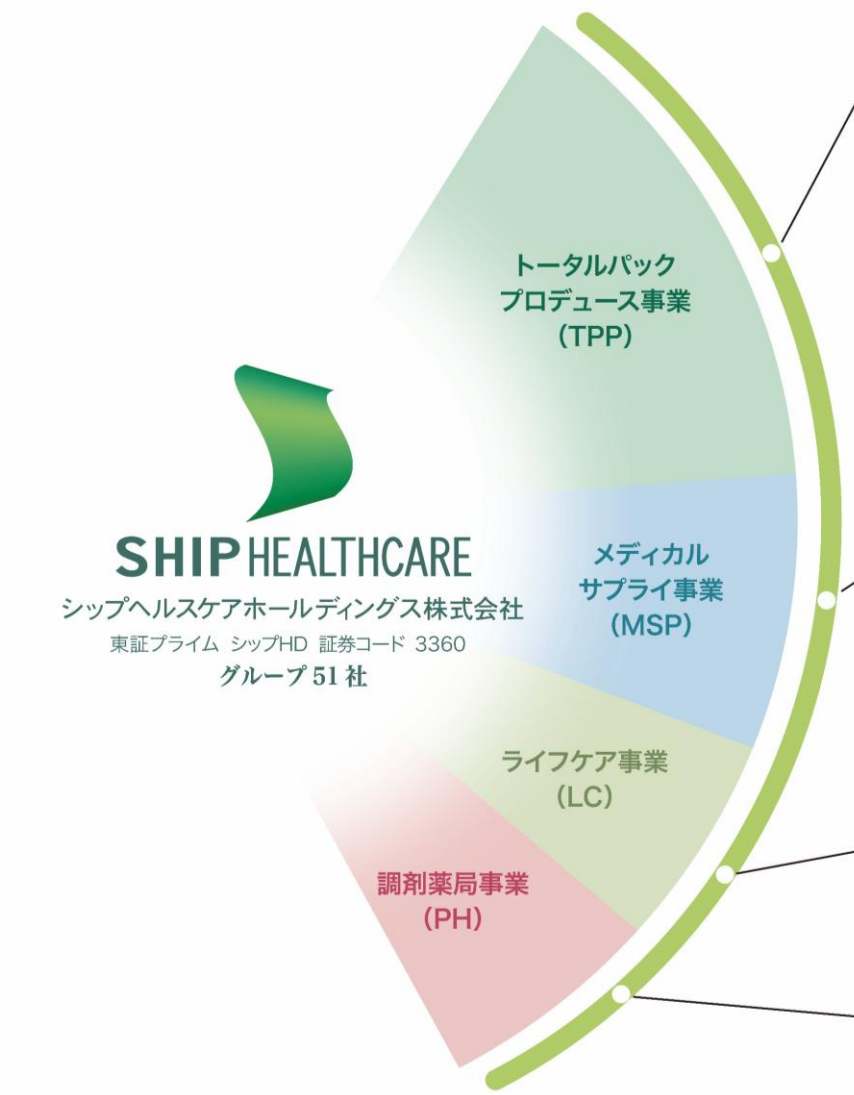
資金を保有するだけでなく、将来の成長に向けて活用



※1 公開買付け成立・決済完了を前提とした試算。対象会社BS取込み前の数値

中計で掲げた成長投資を着実に実行し、資金を将来の収益基盤の拡充に活用していく方針

当社グループ一覧



病医院の新設・移転の企画から運営までを一括プロデュース

- グリーンホスピタルサプライ㈱
- シップヘルスケアリサーチ&コンサルティング㈱
- シップヘルスケアエステート㈱
- ㈱大阪先端画像センター
- グリーンエンジニアリング㈱
- ㈱北大阪地所
- ㈱セントラルユニ
- ㈱エフエスユニ
- アイネット・システムズ㈱
- 山田医療照明㈱
- 酒井医療㈱
- GREEN HOSPITAL MYANMAR CO., LTD.
- SHIP AICHI MEDICAL SERVICE CO., LTD.
- 大阪重粒子線施設管理㈱
- 昭島国際法務PFI㈱
- ユーロメディテック㈱
- ㈱I&C
- ㈱日本システム家具
- グリーンアニマル㈱
- 日本パナユーズ㈱
- ㈱日本ネットワークサービス
- キングラン㈱
- クリーンペア九州㈱
- キングラン・ハウネスト㈱
- キングランリニューアル㈱
- イーエムエス㈱
- テックインターナショナル㈱
- 昭島国際法務マネジメント㈱

医療施設に対してSPD等による診療材料・医療用消耗品を販売

- グリーンホスピタルサプライ㈱
- セイコーメディカル㈱
- ㈱サンライフ
- ㈱エフエスユニマネジメント
- クオンシステム㈱
- ㈱ハートライフ
- ㈱ライトテック
- ㈱SMC
- ㈱西野医科器械
- 小西医療器㈱
- メディカルロジスティクス㈱
- ㈱ジョイアップ
- ㈱エム・アイ・シー

老人ホーム・グループホームの運営とヘルスケアフード事業

- グリーンライフ㈱
- シップヘルスケアフード㈱
- ㈱グランディック

地域に密着した調剤薬局を効率的に運営

- シップヘルスケアファーマシー㈱

※2026年10月1日現在

参考資料

生命を守る人の環境づくり

SHIP HEALTHCARE

病院経営環境

■公立病院の2025年度決算：
経常赤字は3,399億円に縮小も、赤字病院は8割超（683/841病院）

総務省「公立病院の令和７年度決算の状況」｜公営企業型地方独立行政法人病院を含む｜単位：億円

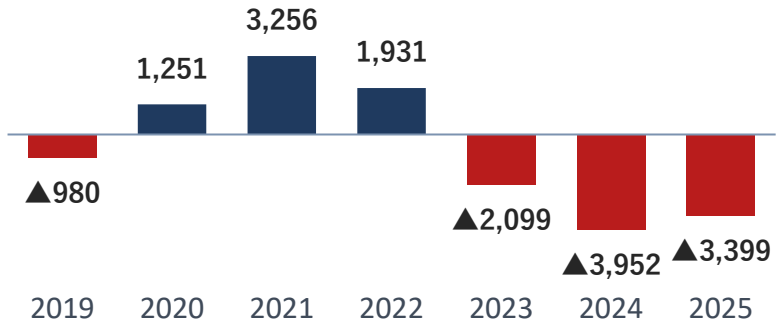
経常損益
▲3,399億円
2024年（▲3,952億円）より553億円赤字が縮小

経常収支比率
94.5%
2024年の93.4%から1.1pt改善、100%割れは3年連続

経常赤字病院
683 / 841病院
赤字割合81.2%（2024年：703/844、83.3%）　黒字は158病院

累積欠損金
2兆1,981億円
2024年（1兆9,992億円）より9.9%増加

経常損益の推移（2019年～2025年、億円）



項目	2023	2024	2025	前年度比
経常収益	55,837	56,354	**58,911**	+4.5%
経常費用	57,935	60,306	**62,310**	+3.3%
医業収益	49,109	50,051	**51,536**	+3.0%
医業費用	54,946	57,238	**59,225**	+3.5%
経常損益	▲2,099	▲3,952	**▲3,399**	赤字14.0%減
累積欠損金	16,974	19,992	**21,981**	+9.9%
経常収支比率	96.4%	93.4%	**94.5%**	+1.1pt
医業収支比率	89.4%	87.4%	**87.0%**	▲0.4pt

経常赤字は縮小したが、医業収支比率は87.0%に低下。
給与費（+1,096億円）・材料費（+680億円）の増加が続く。

出典：総務省 資料「公立病院の令和７年度決算の状況」（地方公営企業決算状況調査、公営企業型地方独立行政法人決算状況調査）。四捨五入のため差引が一致しない場合あり。経常損益の前年度比は赤字額の増減率。

病院経営環境

■改定直後の2026年6月、赤字病院割合が低下し「経営改善の兆し」

日本病院会・全日本病院協会・日本医療法人協会 合同調査（2026年10月20日公表）｜2025年6月と2026年6月を比較｜対象：全病院 n=713

指標	2025年6月	2026年6月	差
医業利益の赤字病院割合	72.1%	**55.4%**	**－16.7pt**
経常利益の赤字病院割合	64.9%	**46.0%**	**－18.9pt**
100床当たり医業利益	▲2,491万円	**▲1,556万円**	**＋935万円**
100床当たり経常利益	▲1,152万円	**▲54万円**	**＋1,098万円**

前年同月比（2026年6月）

医業収益　＋10.1%

医業費用　＋5.7%

収益の伸びが費用の増加を上回る

今後について
材料費・給与費・委託費等の増加が続いており、引き続き動向の注視が必要

調査結果より：改定直後の6月は「経営改善の兆しがみられた」

出典：2026年度 病院経営定期調査 中間報告。n=713病院（黒字385・赤字328）
100床当たり利益は各年6月の月次実績。

病院経営環境

■改定後の2026年6・7月、急性期の大規模自治体病院で診療収益が前年同期比7–10%増

診療収益の伸び

7–10%増

2026年6・7月（前年同期比）

対象：500床以上の急性期の大病院
（全自病が把握した20病院の状況）

増収が目立つ病院
新設された「急性期A」や「急性期総合体制加算」を取得している病院で、大幅な増収

中小規模の病院
目に見えるような診療収益の増加効果は、現時点では見られない

背景
2026年度診療報酬改定で、急性期の大病院に多くの財源が配分された効果と考えられる

出典：GemMed（2026.9.7）／全国自治体病院協議会 定例記者会見（2026年9月3日）

病院経営環境

■9月時点でも、一般病院の収益・利益の改善感は強まった

福祉医療機構（WAM）が2026年10月2日に公表｜2026年9月調査｜回答240病院（うち一般病院142）｜一般病院の結果

指標	2026年6月	2026年9月	変化
医業収益DI 増加－減少	▲3	**51**	**＋54pt**
医業利益DI 増加－減少	▲37	**21**	**＋58pt**
医業収支DI 黒字－赤字	▲38	**▲2**	**＋36pt**

注1）DIは回答割合の差で、増加率ではない。実際の損益金額の集計ではない。改定だけの効果を切り分けていない。
注2）精神科病院の医業収支DIは▲3から▲12へ悪化

6月の改定直後だけでなく、9月時点でも一般病院の収益・利益の改善感が強まっている

出典：福祉医療機構「病院経営動向調査（2026年9月調査）」。医業収益・医業利益DIは「増加」－「減少」、医業収支DIは「黒字」－「赤字」の回答割合の差。変化は6月調査との差（ポイント）。

お問合せ窓口



「ONE SHIP」マーク

追い風を受け前進する帆を表したSのかたちは、
いかなる時でも目標を目指し航海をつづける
SHIP理念を表象しています。

「ONE SHIP」は、
社会要請という強い風を受け、
ヘルスケアの未来という光を映しながら
社会の荒波を航海する一艘の船を表しており、
シップヘルスケアグループの結束を象徴しています。

■ＩＲ窓口：経営企画部
■電話番号：06-6369-0130
■メールアドレス： ir-info3360@shiphd.co.jp
■ホームページ: https://www.shiphd.co.jp/

本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。

SHIP HEALTHCARE

MEMO